

授業科目	高齢者福祉特講 Welfare for the Aged			担当教員	裴 孝承		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>日本における高齢者福祉分野は、学術研究、実践が進んでおり、他の国に比べても最先端であるという。本講は、高齢者福祉の歴史的・社会的事実に関する社会科学的に学び、共生社会の実現可能性を検討する。具体的には、社会の高齢化やその状況、高齢者の職業・所得、健康・福祉、生活環境、研究開発、権利擁護である。また、高齢者のためのソーシャルワークおよびソーシャルワーカーの育成（スーパービジョンなど）についても理解し、科学的、批判的視点から論じる。また、海外の高齢者福祉の実態と課題を理解し、日本とも比較することで研究の視野を広げる。</p>							
観点	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
関心・意欲 ・態度	高齢社会における「共生社会の実現」のためのリーダーとしての資質を身につけることができる。				グループディスカッション	10%	
思考・判断	高齢者の生活問題を基軸として、具体的な解決策の高度な思考・判断力を体得できる。				グループディスカッション	10%	
技能・表現	高齢社会におけるホスピタリティの実践に必要な権利擁護援助技術を体得できる。				課題発表（プレゼンテーション）	50%	
知識・理解	世界のなかの日本の高齢者福祉について知識を獲得できる。				レポート	30%	
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>グループディスカッション（20%）では、発言内容の的確性、積極性を評価する。課題発表（50%）では、発表内容の質と応答内容の創造性や熟考性の深さを評価する。レポート（30%）は講義の最終日に提出する。課題発表、グループディスカッションのフィードバックは授業内で行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>本講義では、社会の高齢化やその状況、高齢者の職業・所得、健康・福祉、生活環境、研究開発、権利擁護である。また、高齢者のためのソーシャルワークおよびソーシャルワーカーの育成（スーパービジョンなど）についても理解するため、主に受講生の予習に基づき、発表とグループディスカッション形式で授業を行う。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：指定しない。資料を配布する。 参考書：高齢社会白書「令和5年版」</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本特講では、社会科学的能力を磨くことを念頭に置きつつ、高齢者福祉に関する知識習得だけでなく、科学的、論理的な視点で理解してほしい。また、現在の日本の高齢者福祉に関する批判的な視点も持ってほしいため、高齢者福祉に関連する多様な論文を読むことをお願いしたい。また、「高齢者福祉の存在意義」を根本から探究できるようにするため、講義での疑問について、予習復習を通して発展的に解決していき、関連分野まで俯瞰して社会のあり方そのものをデザインするコンピテンシーが修得できるようになることを期待する。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本授業のねらい、授業形式、課題などについてオリエンテーションを行う。また、修士論文との関連性について検討する。	予習：シラバスを読む。 復習：自分の修士論文のテーマとの関係を関連付ける。
2	日本における高齢社会①	高齢社会対策の基本的枠組みについて理解する。また、高齢社会白書および関連論文を検索し、発表の準備を行う。	予習：社会福祉原論を読む。 復習：参考文献をまとめる。
3	日本における高齢社会②	高齢者の就業・所得について学ぶ。(課題発表とディスカッション)	予習：高齢社会白書を読む。 復習：討論内容をまとめる。
4	日本における高齢社会③	高齢者の健康・福祉について学ぶ。(課題発表とディスカッション)	予習：高齢社会白書を読む。 復習：討論内容をまとめる。
5	介護保険制度①	介護保険制度における基本仕組み、サービス内容について学ぶ。	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
6	介護保険制度③	介護保険制度における地域支援事業について学ぶ。	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
7	介護保険制度③	介護保険制度における地域支援事業について学ぶ。	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
8	日本における高齢社会④	高齢者の学習・社会参加について学ぶ。(課題発表とディスカッション)	予習：高齢社会白書を読む。 復習：討論内容をまとめる。
9	日本における高齢社会⑤	高齢者の生活環境について学ぶ。(課題発表とディスカッション)	予習：高齢社会白書を読む。 復習：討論内容をまとめる。
10	<u>高齢者に対する法制度</u> その他の法律①	認知症高齢者支援に対する制度、高齢者施設および在宅における高齢者虐待の現状と内容について学ぶ。 (課題発表とディスカッション)	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
11	<u>高齢者に対する法制度</u> その他の法律②	バリアフリー法、高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法の概要について学ぶ。(課題発表とディスカッション)	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
12	ゲストスピーカーによる講話	高齢者を対象とした権利擁護の基本とその実際についてゲストスピーカーの講話を聞く。	予習：資料を読む、関連論文を検索する。 復習：授業内容をまとめる。
13	海外の高齢者福祉①	海外の高齢者の現状や制度について理解し、日本への学びについて議論する。(課題発表とディスカッション)	予習：発表準備。 復習：授業内容をまとめる。
14	海外の高齢者福祉②	海外の高齢者の現状や制度について理解し、日本への学びについて議論する。(課題発表とディスカッション)	予習：権利法制度体系を調べる。 復習：実践的活用を振り返る。
15	まとめ	これまでの授業内容を総合的にまとめる	